



神出の樹

平成24年7月26日発行
県立神出学園
神戸市西区小束野30
078-965-1122

毎月1回、主な行事を中心に、神出学園の様子をみなさんにお知らせする学園通信「神出の樹」平成24年第4号をお届けします。

今年は梅雨明けから異常な暑さが続く毎日ですが、いよいよ明日から夏休みに入ります。たまたま今年は、四年に一度のオリンピックイヤーで、7月27日からイギリスのロンドンで熱い戦いが繰り広げられます。国の威信をかけた、各国のトップアスリート達が、究極まで自分を追い込み、一生懸命、ひたむきにその競技に取り組む姿は、勝負の勝ち、負けは別として、見る者の心を打ち、深い感動を呼びます。みなさんも、どんな種目でもいいですから、オリンピックを観戦して、「一つのことに打ち込む素晴らしさ」を心に刻んでもらえたらと思います。

<神出元気アップセミナー>

7月5日（木）、「神出元気アップセミナー」が開かれました。このセミナーは、人生経験が豊富でメッセージ力のある外部講師の講演により、学園生の新たな発見や元気回復を応援するのがねらいで、井戸知事の特別な配慮もあり、今年度から新たに開かれるようになりました。

今回は、世界の冒険家である三浦雄一郎・クラーク記念国際高等学校校長にお越しいただき、「冒険に生きて～一步一步登り続ければ頂上に立てる～」をテーマにご講演いただきました。ご講演の中で、世界七大陸最高峰からの滑降や、75歳での2度目のエベレスト再登頂など、「冒険に生きた歩み」を紹介いただき、自然の雪山の厳しさに比べたら、人生における困難や挫折も「こんな程度か」と思えたところとチャレンジ精神の大切さと夢をあきらめない尊さを教えていただきました。三浦先生、ありがとうございました。



<夏野菜とキノコの収穫>

7月12日（水）楽農センター



<ふれあい体験>

7月17日（火）グリコピア神戸



<神出学園スタッフの「座右の銘」>

藤田俊正さん（教務スタッフ） 「なせばなる」

私が小3の時に少年剣道クラブの先生が、稽古（けいこ）の前に話をしてくださった言葉です。正確には、「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」となります。この「なせばなる」という言葉は、「やったらできる（成功する）」という意味に誤解されがちですが、実は「やるからできる」という意味なんです。「やるからできる やらないからできない 何事も成功しないのはその人がやっていないからだよ」「やったらできる」と言われると励まされている感じがしますが、こんな風に言われると、冷たく突き放された感じがします。「物事を成功するためには、まず実行」というのはごく当たり前のことですよ。でも、なかなかできないこともあります。勇気をもって一歩踏み出す（実行してみる）ことを心がけたいものです。



<7月10日 花壇づくり>

（追記）「座右の銘」（常に身近に置いて、自分の戒（いまし）めとしたい言葉）というのは、その言葉の内容が自分ではできていない（という自覚がある）から、「座右の銘」としているんですね。

※次号は、辻さんの予定です。お楽しみに！

夏休み明けの最初の登園日は、9月3日（月）です。元気な顔をみせてくださいね。